

令和4年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会派名	上志の風
事業名	先進地視察 佐賀県武雄市図書館の取組について
事業区分	①研究研修 ②調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田図書館は昭和45年に建設され、50年以上経過している。令和3年4月に上田市図書館施設整備計画が策定され、令和12年を目途に改築を進めている。
 こうした状況において、佐賀県武雄市の指定管理者による図書館の管理と図書館の枠を超えた取組について、参考になるところが多々あると考え、視察研修を実施した。

2 実施概要

実施日時	視察先	佐賀県 武雄市
令和4年10月20日 9:30 ~ 11:00	担当部局	武雄市図書館・歴史資料館 武雄市こども図書館 館長
報告内容	1 市の概要	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県西部、佐賀市の西約28km、佐世保市の東30kmの場所に位置する。面積は195.40km²で、地形は低山と盆地と川沿いの平地が入り組む地形。市域南東部の武雄盆地の西の端、市域西側の盆地に人口が集中している。市中心には武雄温泉が有名である。平成18年3月に武雄市、山内町、北方町が新設合併し、武雄市が誕生。 ・ 人口47,962人(男:22,730人、女:25,232人)世帯数17,585世帯 	
報告内容	2 市の特徴	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武雄市図書館・武雄市こども図書館は、2013年から「市民の生活をより豊かにする図書館」をコンセプトに、指定管理者制度を導入し、年中無休・9:00~21:00まで開館している。図書館内に蔦屋・スターバックス・九州パンケーキカフェがある。きっかけづくりの場とて、講座・ワークショップなど多種多様なイベントを開催。市内外から利用者が集まる。 	

3 視察事項について

・指定管理者制度導入前の課題

- ・来館者数の伸び悩み。利用者の固定化。→ 魅力が必要。
- ・特に若者層、子育て世代、(30~40代)の利用の難しさ。
- ・講座、イベント等のノウハウ不足 → これから企画力・提案力が重要。
- ・限られた人員・運営予算。

課題の解消するために、図書館はまちづくりの核(エンジン)になれる。

・新図書館構想(武雄図書館)

コンセプト 「市民の生活をより豊かにする図書館」

目指す図書館像 「便利」で「役に立つ」図書館

- 1 いつでも利用できる図書館
- 2 居心地のいい図書館
- 3 体験できる図書館・・・「ライフスタイルの提案」提案型図書館

構想実現のため、行政(武雄市)は民間(CCC)と手を組む。

・指定管理者制度による図書館づくりの進め方

構想段階から民間と連携、住民の意見を尊重した図書館。

行政(武雄市)でできなければ、民間の力を借りる。

・武雄市図書館のビジネスモデル(指定管理者)

武雄市(図書館所有者)・・・図書館改装コストなど

指定管理者(CCC)・・・武雄図書館・こども図書館運営

目的外使用(CCC)・・・蔦屋書店・スターバックスの営業

・リニューアルオープンまでの過程

CCCと基本合意の締結 (平成24年5月)

リニューアル改修・システム更新等の工事(11月~3月)

指定管理者制度による運営開始 (平成25年4月)

通常3年かかる所を、1年で立ち上げ運営をはじめた

- ・ 武雄市図書館にて実現する 9 つの市民価値
 20 万冊の知に会える場所（10 万冊から 20 万冊へ）
 雑誌販売の導入・映画・音楽の充実・文具販売の導入・カフェダイニングの導入
 Tカード、Tポイントの導入 など。
 ➡ 指定管理者制度により、サービス拡大と行革を実現する。
- ・ 学校・保育園等への支援・サービス
 学校図書室担当職員の研修会実施
 学校返却（図書館の本を学校で返却可能）
 高齢者福祉施設、病院等への配本・講座サービス など
- ・ 多種多様なイベント開催
 生活の中に新たな一歩が見つかる、きっかけづくりの場
 小規模で数多く開催（参加しやすい） 活動を見せる（影響を与える）
 市民の参画、出番づくり（講座など） 多ジャンル（各世代のきっかけづくり）
- ・ こども図書館 平成 29 年 10 月オープン
 コンセプト こどもと家族の生活を豊かにする図書館
 = 「家（いえ）」のような図書館
 子育て応援施設「武雄で子育てしたいと思ってもらえるこども図書館を目指す」
 「遊び・学ぶ・育つ」の視点から子供を中心に多世代が交流できる様々な工夫
 読書だけでなく遊びの場としての機能を持たせ、一日中楽しめる環境づくり
 趣味を凝らした講座・イベントで様々な学びや発見に繋げ、本を通して学びを
 深める
 ➡ 「本（絵本）が好きになる」 「子育てが楽しめる」
 「新たな発見やたくさんの可能性に出会える」
 世代を超えて交流・学習できる施設
 武雄の自然・遊び・出会い、絵本を通した「学びの場」
- ・ 図書館≒自己実現の手助け（学習、趣味等のきっかけづくり）
 ライフスタイルの提案
 本の分類方法（独自の 22 ジャンル分け）
 館内の配架の工夫（新たな発見へ繋げる本の見せ方）
 講座、イベントの見せる化
 （活動している風景が見え、人の活動が人に影響を与える）
 ➡ 地域の「文化・知識」のレベルアップ
 住民の「生活の充実」 に寄与したい

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

武雄市図書館は、改築前の図書館の課題が明確であり、新図書館のコンセプトをしっかりと作り込んだ。「市民の生活をより豊かにする図書館」その構想を実現するために、民間と手を組む事で実現できると判断し、先に組む相手(指定管理者)を決め、構想段階から民間と連携をし、住民の意見を尊重してきた。そして、市長の行動力が、議会を動かし、行政を動かし、スピード感のある施設の建設・運営に繋がっている。

何よりも、図書館の固定概念にとらわれず、館内には音楽が流れ、こども図書館では、こどもが泣いても騒いでも注意されることはない。館内の飲食スペースではスターバックスコーヒーを飲みながら、本を読む市民の姿が見られる。小さいこども達も親も利用しやすい。市民が集まり、居心地がいい空間づくりがされている。そして、蔵書点検も休館日にして行うのではなく、閉館後夜中に行う事で通常通りの開館時間を実現している。体験型図書館「きっかけづくりの場」として、講座、ワークショップなど多種多様なイベントを開催。歴史や本に関する講座だけでなく、語学、美容、趣味など、幅広い年代層をターゲットに捉えた講座を開講している。

昭和 45 年開館の上田図書館は開館から 50 年以上が経ったわけだが、趣があり、周りには木がたくさんあり、静かな雰囲気図書館である一方、老朽化・バリアフリー化・蔵書集約 36 万冊を管理し手狭であるなどの課題を抱えている。令和 3 年に上田市図書館施設整備計画を策定し、令和 12 年を目途に改築を進める予定をしている。上田市もコンセプトを明確にし、スピード感を持って、市民の皆さんが行ってみたいと思う様なワクワクする図書館を目指してもらいたい。そして、我々の会派も今回の視察を活かした提言をして参りたい。

又、他の市立図書館である真田図書館、丸子図書館、情報ライブラリーも、図書館という既成のイメージの枠を超え、もっと多くの市民の皆さんが図書館に行きたいと思える様な、企画、環境づくりを期待する。

